

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.108号 2018年12月5日発行

花のサイクル

3月のバラの剪定に始まり、クリスマスローズの枯葉採り、球根類が次々と咲く4月、5月、そして、6月は病院の庭の美しいとき、ポピーが咲き、麦も風にそよぎます。麦センノウや矢車草、オルレアの白い花も良い感じに咲いてくれました。7月になると、大急ぎで種採り、ポピーの片付け、コスモスの種まきです。10月の病院祭に間に合うようにと、ハラハラしながらの作業でした。初秋の庭の風物詩、コスモスも答えてくれました。またまた、コスモスの種採りののち、今年は管理機で耕していただき、はかどりました。この場所は6月にポピーや麦が花開く場所、無事に種をまくことができました。

今年は水曜日ごとの雨、酷暑の夏と、大変でしたが、会員たちの努力で1年のサイクルは回ります。チューリップなどの植えこみも終わり、春の庭を夢みつつ、一休みですね。お疲れ様でした。[菰田]

11月21日、秋のバザー開催

あれこれ準備したつもりが、当日になってバタバタでした。バザーに出す品は手間がかかります（当たり前？）。例えば、リースはつるを採りに行き、土台にする松ぼっくりやアジサイなど飾りになる物を乾燥、リボンや針金なども用意し、バザー1週間前にリースに仕立て、最終チェック。ヒンメリ然り、ラベンダーサッシュュ然り、ハーブティー然り、時間外労働あり（当たり前？）、意見の違いもあり（当たり前？）。こんなやりとりを通して仲良しが増えるのです。



お金をいただくのもひと仕事。少々お気に召さぬこともあるかもしれませんが、会費なしで活動できるのもバザーのお蔭。大口寄付があれば、バザーは要らなくなるでしょうか？



リースや箸を目指して来た方もあれば、買ってくださった物を病室に置いて、再び降りて来た入院患者さんあり、手作り小物を寄付してくださった方あり。売り上げ¥225,000なり。皆様、ありがとうございました。春もよろしく。[仲野]

学習会のお知らせ

時間：10時～12時 場所：講堂（病院東棟2階） 飲み物は各自持参

- 1月16日（水）2018年を振り返って（10時～） 鎌田先生のお話（11時～）
- 2月20日（水）緩和ケア科の先生のお話（10時～） 新年度に向けて（11時～）
- 3月20日（水）萩尾エリ子先生のお話（10時～） 新年度活動計画（11時～）



イルミネーションを点灯

イルミネーションの飾り付けを行いました。昨年と同様に小児科病棟から見やすいように“陽なたぼっこ”周辺に集めました。年々劣化し、少なくなりつつあるイルミネーションですが、集合させることである程度まとまって見えるようにしました。また、陽なたぼっこの中に入ってみると、周りや天井のガラスにイルミネーションの光が映り、まるで大きな万華鏡の中に迷い込んでしまったかのように感じられます。是非一度体験してみたいはいかがでしょうか！！ [高橋（政）]

*点灯時間：11月14日（水）～1月15日（火）、毎日17時頃～21時頃

氷の花 シモバシラ（霜柱）

本格的な冬の到来前、気温が氷点下にまで冷え込む朝、シモバシラ（霜柱）の根元に白い羽毛のような氷の花が咲く。秋の花よりも氷の花のほうが目を引くため、この名前と呼ばれるようになったのだろう。シソ科の多年草で茎が四角く、しっかりしている。



葉や茎が枯れても地中から水分を吸収して、それが茎の割れ目などから染み出し結晶化するのだという。冬枯れの中で氷の花が立ち上がっている姿を見ると、なんともすがすがしい気分になる。グリーンガーデンの東庭ネムノキ(合歓木)の附近にある。[篠田]

コラム No.5 白バラのご縁

10年前、祖母が入院した病室の窓からきれいなお庭と働く方々の姿が見えました。引き寄せられる様にお庭に向かった事を憶えています。その頃、私は東京から地元の茅野市に戻ってきたばかり。時間とやる気だけはあり、次の週から来る事を約束して、グリーンボランティアに参加させて頂く事となりました。

病気ではない人も病院へ行く、お庭へ行く、人が集まる。不思議で魅力的なお庭がどんどん好きになっていきました。ボランティアの活動から元気をもらったり、背中を押されたり。

今は子供が生まれ、病気の時にお庭に来る立場となりました。木陰の木道を乳母車で歩けること、歩くとよい香りがして心のケアにもなること、風の気持ち良さを感じる場所にベンチがあること、明るいお花にとても元気をもらえることを知り、またお庭が好きになりました。

写真は2008年6月に初めてお庭に行った際、ボランティアの方から頂いた白バラです。白バラのご縁に感謝しています。[柿澤]

